

# 行政視察等報告書

令和 7 年 2 月 4 日

境港市議会  
議長 永井 章 様

会派名 自由未来  
代表者 荒井 秀行

下記のとおり行政視察（調査・研修）を行ったので、その結果を報告します。

## 記

|                      |                                                                                  |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 1 視察等期間              | 令和7年1月30日（木）～31日（金）                                                              |
| 2 視 察 等 先<br>及 び 内 容 | リファレンス西新宿大京ビル 東京都新宿区西新宿 7 丁目 21-3<br>地方議員研究会主催 研修会<br>「役所の仕組みを学ぶ」<br>「質問の仕組みを学ぶ」 |
| 3 視察等議員              | 荒井秀行、松本晶彦、伊藤康弘、吉井 巧                                                              |
| 4 総 経 費              | 合計149,300円（1人当たり37,325円）<br>※一人当たり経費に端数が出る場合は円未満切り捨て                             |
| 5 所 見 等              | 別紙のとおり                                                                           |

視察先対応者: 地方議員研究会

内 容:

講師: 市川 克美氏

経歴: 1984年 同志社大学法学部法律学科卒、同年、大阪府寝屋川市入庁

【主な職歴】

大阪府企画調整室政策チーム(出向)

市民生活部兼産業振興室長兼農業委員会事務局長

市民生活部兼産業振興室長

理事(健康部担当)兼健康部長兼保健事業室長

理事(経営企画部・まち政策部担当)兼都市未来政策監兼経営企画部長

副市長(R1.6.20～R5.6.19)

現職 指導役(寝屋川市職員の人材育成担当)

宮本 正一氏 (日本公共経営研究所代表)

経歴: ボストン・ウェントワース工科大学卒、神戸大学経営大学院でMBA(経営学修士)、

大阪市立大学院で医学博士号(公衆衛生学)を取得

厚生労働省 厚生労働研究「ワクチン疫学研究班」研究員(～2023)

同志社大学生命医科学嘱託講師 担当科目「解剖学概論」(～2023)

吉野町役場政策アドバイザー(～2024)

寝屋川市議会議員5期20年間(1995～2024)

第54代寝屋川市議会議長

○1月30日 木曜日 前日移動(米子鬼太郎空港～羽田空港)

○1月31日 金曜日 10:00～12:30 「役所の仕組みを学ぶ」

- ・職員のタイプと効果的な使い方
- ・役所と議会の違い
- ・こわい議会のチカラとは何か
- ・なぜ冷たい答弁になるのか
- ・職員にこう言われたら、こう返せばいい事例

○1月31日 金曜日 14:00～16:30 「質問の仕組みを学ぶ」

- ・質問で何がしたいのか
- ・意味のある質問の要件
- ・質問を受けたら役所でしていること
- ・ダメな質問の事例の紹介と改善策
- ・元議長と前副市長から学ぶ質問の極意

所見等:

今回、2つのセミナーの講師二人は同時期に寝屋川市(部長)と寝屋川市議会側(議員)の立場として議論をされた間柄であり、その実体験を踏まえた対話形式のものであった。

第1部「役所の仕組みを学ぶ」では議員からの質問を市役所側の視点で考察しながら、議会質問の対応の流れを学んだ。実際の市議会の実例を基に、NGな質問とその答弁の解説としていくつかの例を挙げての説明を聞いた。その中では市役所側の楽な答弁や議員側にもっと深掘してほしいというような内容があり、また、刺さる質問とその答弁の解説ではテキサスヒット(複数の部署にまたがる)の質問や詰将棋型や逆算型の質問での具体事例もありとても参考になった。

第2部「質問の仕組みを学ぶ」では、第1部と同様な構成でNGな質問とその答弁解説、OKな質問とその答弁解説で実例を基に話されていた。第1部よりも第2部の方がより詳細で具体的な事例をあげており、より理解が深まった。事例の改善例も紹介されイメージがしやすかった。その他では役所の上手な使い方やキーパーソンになりえる職員の特徴の解説があり、行政マン目線ならではの考え方も参考になった。

今回の研修では主に執行部側の目線で議会質問を捉えたセミナーの内容だったため、市役所側の心理・思惑の理解が深まった。そして、刺さる質問とはなにかということが再認識できたセミナーでもあった。今後の議会質問、そして議員活動に生かしていきたいと思う。

(伊藤康弘)